

# 森林組合だより

令和4年7月  
Vol.12

豊根森林組合



## 中間土場にて活躍するグラップル

トラックへの丸太の積み込み・荷下ろし・仕分け・整地など  
さまざまな作業を行います（レンタル機）。



中間土場の全景（ドローンにて撮影）



# 組合長あいさつ

代表理事組合長  
村松 久



新型コロナもだいたい沈静化し、各所でイベント・総会等が実施されるようになりました。当組合の通常総会もこの6月24日に例年の形式で開催いたしました。組合員の皆様には書面議決書、委任状をご返送いただき有難うございました。

本森林組合の組合員数は約1,000名です。内70%近くが村外にお住まいの方です（面積比率も同等です）。県下の森林組合の中では突出して多い比率です。「総代会」では無く「総会」を行っている処も当組合だけです（総代会は200名以上の総代が必要）。総会成立の為には遠隔地の組合員の方のご協力が不可欠ですので今後もご協力お願い致します。

コロナの方は沈静化してきましたが、ウクライナ情勢、急速な円安、物価上昇・インフレ懸念等不安要因が我々を取り巻いています。資源の安定供給を図る上で輸入頼りが如何に不安定でもろいものかと「ウッドショック」で再認識した1年でもありました。

「森林環境譲与税」の創立と、森林経営管理法に基づく「新たな森林管理システム」が開始され3年目となり、施業に当り組合

員の皆様の所にも行政・組合から委託手続等の案内が届くかもしませんが、遠方の方が多いので直接伺うことは出来にくい状況ですが、相談要望は遠慮なくお申し出下さい。ご自身の木が・山がどうなっているのか、これを機に興味を持っていただき伐採、植生管理を考えてはいかがでしょうか？

森林環境譲与税を活用して本村上黒川地内（温泉入り口）に「中間土場」を設置し、搬出材のストック・仕分けを行い流通網整備に着手しております。実証事業ですので3年目の今年が最後となります。販路拡大と売値UPには成果が出ていますので、事業終了後も継続を考えています。現在中間土場で活躍している※グラブプルはリース物件ですのでその時に併せて新規購入する予定です。※表紙の写真にある重機（高性能林業機械）。

令和3年度の決算は様々な要因が重なり黒字を確保できました。組合員の方にも利益還元を次の2件で行うこととしました。

1件目は、本総会の2号議案にある例年徴収しています「賦課金」を令和4年度は「なし」としました。

2件目は、より多くの方に林産事業を利用していただけるよう、林産事業の取扱手数料を今後3年間6%から4%に減額致します（約1,000万円）。幸い、昨春來のウッドショックで材価が3割以上上昇していますので、皆伐・間伐を問わず伐採管理するにはよいタイミングかと思っておりますので是非ご利用ください。戦後植栽木もおよそ70年生となり充分成木として伐採できます。

尚、賦課金徴収は次年度以降どのような取扱いにするか今後の理事会で十分協議の上決定したいと考えています。



## 新入職員の紹介

今年度より現場職員として2名の新人が加わりました。現在山林調査・測量業務を中心に取り組んでいます。一生懸命取り組んでいますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 劔持 瑛公 (けんもち あきひろ)

6月から豊根森林組合に入職しました  
劔持 瑛公 (けんもち あきひろ)  
です。樹木に携われる仕事に就きたいと思い、新たにチャレンジする気持ちで林業への転職を決意しました。まずは、教えていただいたことを一つ一つ覚えていき、信頼される職員となっていきたいです。よろしくお願い致します。



### 太田 日奈 (おおた ひな)

4月から当組合の現業職員として入職しました、  
太田 日奈 (おおた ひな) です。  
高校生の時に見学した杉師の仕事に憧れを抱き、林業の職に就きたいと思うようになりました。当組合には、大学生の頃に見学した際、職員の人柄に触れたことがきっかけで入職しようと決めました。  
元々は平野に住んでいたため、山での仕事はまだまだ不慣れなことが多いですが、少しずつ体を慣らしていきたいです。仕事も一人暮らしも初めてで大変ではありますが、楽しみながらも頑張っています。  
どうぞよろしくお願い致します。





## 成熟期を迎えたスギ・ヒノキを 出荷しませんか？

当組合では各種補助事業を活用し、所有者負担の少ない山林の手入れを実施しております。さらに現在当組合独自の助成として、個人でご希望いただいた搬出施業の場合、取扱手数料が4%となるキャンペーンを行っております！（通常：6%。実施期間は令和7年度まで）。

随時申し込みを受け付けておりますのでご希望の方はご連絡ください。

※補助申請の準備などの都合上、施業実施までにお時間がかかる場合がございます。



▲皆伐直後の様子



▲切った木を重機で引き寄せ、玉切りする様子



▲倒した木をチェーンソーで玉切りする様子



▲中間土場から大型トラックで丸太を運ぶ様子

## 市況表 (三河材流通加工センター) 2022年6月9日

樹種	長さ	末口径	落札単価 (円/m³)		
			安値	中値	高値
スギ	3m	16~18cm	7,000	10,000	
		20~22cm	8,000	13,000	
	4m	16~18cm	8,000	10,000	
		20~22cm	10,000	13,000	
		24~28cm	12,000	15,000	17,000
		30~34cm	13,000	15,000	17,000
36cm~	12,000	18,000			
ヒノキ	3m	14cm	7,000	15,000	
		16~18cm	10,000	21,000	25,000
		20~22cm	13,000	21,000	
	4m	14cm	6,000	20,000	
		16~18cm	8,000	22,000	23,000
		20~22cm	8,000	22,000	23,000
		24~28cm	8,000	21,000	23,000
		30~34cm	13,000	25,000	
		36cm~	13,000	30,000	

ホルツ三河のホームページで  
ご確認ください

バックナンバーもご覧いただけます



## 表彰されました

2021年7月21日、アイリス愛知にて行われた愛知県森林協会第31回通常総会にて、当組合の荒川時男氏（理事・副組合長）が大村秀章愛知県知事から団体役員功労者表彰を受けられました。永年にわたり地域の林業・木材産業の振興と森林整備に努め、多大な貢献をされました。

## 愛知県森林協会 設立30周年 第31回通常総会



▲荒川時男氏（理事・副組合長）、大村秀章愛知県知事

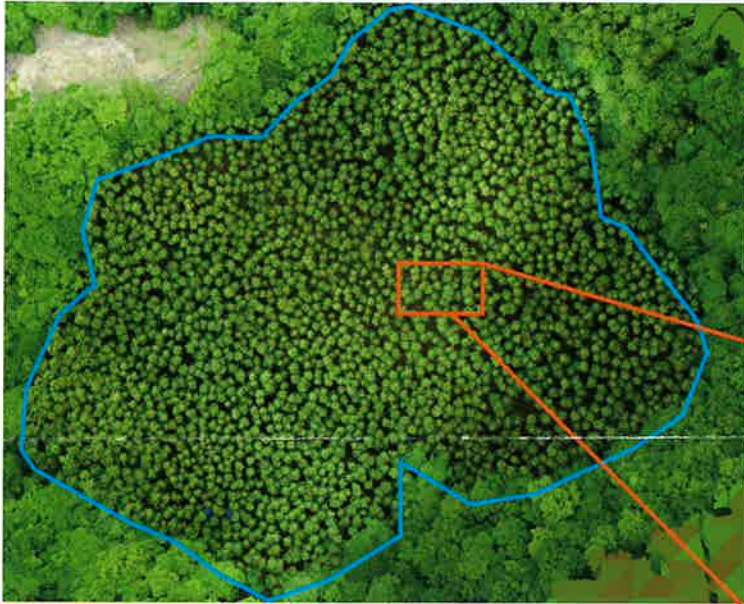


## ドローン活用の幅が広がっています

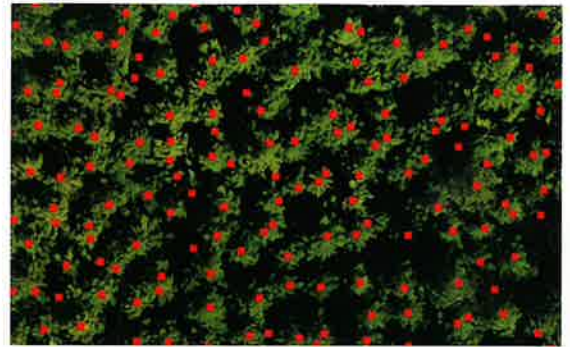
組合では平成29年度よりドローン（無人航空機）を導入し、獣害防止柵の点検や森林調査などに利用しています。

令和4年4月に株式会社ジツタが提供する森林管理に特化したGIS（地理情報システム）や、ドローンを用いた調査・データ活用方法についての研修を受けました。

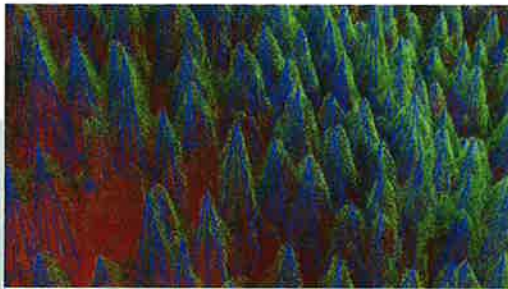
このGISでは、ドローンで撮影した写真を基に森林を3Dデータ化することで立木本数・樹高・樹冠等の自動算出が可能となりました。



▲山林を空撮、解析しスギの樹頂点を検出



▲上：間伐前 下：間伐後（赤い点が1本の木）



青い枠で樹冠を表示し、立体的に森林の状態を把握できます。  
また、樹種ごとの本数、樹高を計算し、推定胸高直径と掛け合わせることで材積推定も可能です。  
今後は愛知県が収集した航空レーザー解析データも活用し森林調査の効率化・省力化を目指します。

## 役員視察研修を行いました

2021年11月10日、役員研修を実施しました。豊田森林組合本所（豊田市足助町）では2014年に完成した建物の立派さ、敷地面積の広さに関心しました。豊田森林組合副組合長の挨拶では新入職員はまず林業大学校に入学させるとの事で、教育に力を入れていると感じました。

次に西垣林業豊田工場（豊田市御船町）を訪問しました。2018年に開設された最新鋭の工場では、自動選別機、リングバーカー（皮むき）、トラクタ牽引式原木チッパーなど普段目にする木サイクルセンターの設備との違いに圧倒されました。



月瀬の大杉（長野県下伊那郡根羽村）

山や木のことなら、まずは森林組合にご相談ください。

Tel.0536-85-1014 Fax.0536-85-1134（午前8時～午後5時/平日のみ）

発行：豊根森林組合 〒449-0403愛知県北設楽郡豊根村下黒川字藤平3番地 TEL.0536-85-1014